

発行所
鹿児島県建築協会
鹿児島市城山町2-13
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479
E-mail: ken36823@ruby.ocn.ne.jp
http://www.kagoken.net/
中小企業人材確保推進事業



出水市に飛来する鶴(出水市)

©K.P.T.F

会員の皆様にはご家族お揃いで平成十九年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もお一層のご支援ご鞭撻をよろしくお願い致します。

国の景気は昨年十一月「いざなぎ景気」を抜き戦後最長になったと表明されました。

この景気は昨年十一月「いざなぎ景気」を抜き戦後最長になったと表明されました。



諸施策に適切に対応し 厳しい環境を克服

(社)鹿児島県建築協会 会長 上山 吉

だが、地方の中小建設業者にはその実感がなく、寧ろ都市部と地方との格差を感じたところだ。

建設業にとって依然として厳しい時代が続いていますが、国や地方自治体において公共工事が長期にわたって削減され、地域の社会資本整備を担っている地方の中小建設業者は危機的な状況に追い込まれております。

全中では優良な中小建設業者が生き残り、地域に根ざした地場産業としてその役割を果たしていくことが出来るよう窮状打開に努めてまいります。

行による官製談合や耐震偽装事件、また地方自治体における不祥事などが大きな社会問題になり国民に大きな安心面を確保する対策として建設関連においても法の改正や制度の見直しが行われています。

また、新設産業政策として建設生産システムの改革を推進するための具体的方向性が大きく三つに示されました。①法令遵守、各主体間の対等な関係の構築、②技術者、技能者による適正な施工の確保に力を入れる、③契約制度の改革を強力に推進することであり、

県においても入札、契約制度で総合評価方式を導入され、また電子入札、電子納品の導入も今年度より試行し、二十年以降拡大される見込みです。

また、新設産業政策として建設生産システムの改革を推進するための具体的方向性が大きく三つに示されました。①法令遵守、各主体間の対等な関係の構築、②技術者、技能者による適正な施工の確保に力を入れる、③契約制度の改革を強力に推進することであり、

平成十九年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

社団法人鹿児島県建築協会におかれましては、日ごろから建築工事の適正な施行の確保と、本県建築業の健全な発展のために御尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表します。

さて、昨年は、記録的な豪雨や台風などにより、全国で大規模な自然災害が発生いたしました。本県におきましても、七月の県北部



三つの挑戦 「力みなぎる・かごしま」の実現に向けて

鹿児島県知事 伊藤 祐二郎

豪雨災害では、記録的な豪雨により、五名の方が亡くなられたほか、県内各地で家屋の浸水被害をはじめ農作物や河川、道路等に大きな被害を受けました。

このような中、貴協会におかれましては、ボランティア活動など被災地の普及に向けた様々な取組を積極的に行われ、被災地の早期復旧に、大きく貢献されました。改めて心から感謝を申し上げます。

皆様には、今後とも、被害に強い建物づくりをはじめ、「安心・安全」かつ、健全な建物づくり、まっすぐりに御尽力いただきますようお願い申し上げます。

私としましては、本県が置かれている厳しい状況を踏まえ、「持続可能性への

挑戦、「産業おこしへの挑戦」、「鹿児島おこしへの挑戦」の三つの挑戦を掲げて県政運営に取り組んでおり、今後とも、大膽でスピード感あふれる改革を更に進め、「力みなぎる・かごしま」の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

皆様には、引き続き、県政の推進に御支援・御協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、社団法人鹿児島県建築協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈り申し上げます。

輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

市政に対する日頃からの温かいご理解とご協力に対し、深く感謝申し上げます。

また、鹿児島市長に就任して三年目を迎えました。この間、市政が順調に進展しておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年の市政を振り返りますと、「市長とふれあいトータル」等の開催に加え、新たに「市民とつくる協働のまち事業」を実施し、市民の皆様と共に考え、共に行動する市政のさらなる推進に努めてまいりました。

また、観光未来戦略に基づき各種観光振興策に取り組みとともに、特産品の県外市場での積極的なPR等を推進しました。

さらに、学校校庭の芝生化や民間建築物の屋上緑化等への支援、地域の防災、防災活動等のリーダー育成や安心ネットワーク一九の運用開始を行うとともに、児童クラブの整備や地域子育て支援センターの増設などにも取り組まれました。

新年においても、厳しい財政環境のもと、引き続き施策の機軸を徹底し健全財政を堅持する中で、これまで展開してきた施策をさらに充実させていかなければならないと考えています。

さて、九州新幹線の全線開業までいよいよ四年余りとなりましたが、部分開業



創ろう未来 躍動する 元気都市・かごしま

鹿児島市長 森 博幸

時よりもさらに広い範囲において、観光、経済、文化など各面での交流が活発になることが予想されます。

こうした追い風をしっかりとつかみ、本市の発展につなげるため、本市の地域資源や特性を最大限に生かした観光振興への取り組みを加速してまいります。

また、本市発展の核となる中心市街地の活性化を図るため、新たな計画を策定し、さらなる都市機能の充実や暮らしやすく、にぎわいあふれるまちづくりを進めてまいります。

年頭にあたり、私はこれから市民の皆様との対話、パートナーシップを大切にしたい。「市民が主役の鹿児島市の実現」を基本理念に、「熱い、明るい、あつたかい鹿児島」づくりに全力を傾注し、市民の皆様との知恵と力を結集した「未来に躍動する元気都市・かごしま」を創造してまいります。

本年も市政の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年でありませう。心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



時よりもさらに広い範囲において、観光、経済、文化など各面での交流が活発になることが予想されます。

こうした追い風をしっかりとつかみ、本市の発展につなげるため、本市の地域資源や特性を最大限に生かした観光振興への取り組みを加速してまいります。

また、本市発展の核となる中心市街地の活性化を図るため、新たな計画を策定し、さらなる都市機能の充実や暮らしやすく、にぎわいあふれるまちづくりを進めてまいります。

年頭にあたり、私はこれから市民の皆様との対話、パートナーシップを大切にしたい。「市民が主役の鹿児島市の実現」を基本理念に、「熱い、明るい、あつたかい鹿児島」づくりに全力を傾注し、市民の皆様との知恵と力を結集した「未来に躍動する元気都市・かごしま」を創造してまいります。

本年も市政の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年でありませう。心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

年頭所感



社団法人全国中小建設業協会会長 岡本 弘

平成十九年の年頭にあたり、改めてご挨拶を申し上げます。我が国経済は、企業収益の改善や需要の増加等を受けて設備投資が増加し、個人消費も緩やかに増加するなど、景気は回復基調にある中において、建設業界は目を見まします。公共事業費は毎年削減され、平成四年度のピーク時に八十四兆円だったのが...

発展の年

鹿児島県土木部長 真下 和彦



平成十九年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。社団法人鹿児島県建築協会の皆様方におかれましては、新たな年を迎えてさらなる飛躍・発展の決意に燃えていらっしゃるものと存じます。さて、地方分権の進展に伴って激化する地域間競争に勝ち抜いていくためには、県民の安全・安心な生活を確保し、「力みなぎるかこしま」を構築する必要があると認識しております。このため県におきましては、「県土をつ



公共事業を取り巻く環境が厳しい状況の中で、地域にとつて真に必要な施設整備を着実に進めるためには、県民の皆様への御支援・御協力はもとより、社会資本整備の担い手であり、地域に根ざしている皆様方の御支援が不可欠であります。今後とも、建築行政の推進に際し、一層の御協力をお願いいたしますとともに、新しい年が皆様方にとりまして希望に満ちた、大いなる発展の年になりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

新年を迎えて

鹿児島県土木建築技監 北 真夫



新年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、平成十九年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、本県の建築・住宅行政の推進につきましては、かねてから多大なる御支援・御協力をいただき、心から感謝申し上げます。さて、世の中は景気な充足感や価値観の多様化が進む中で、確実に成熟社会への移行を続けており、建築物の整備はもとより、環境共生、

未来に躍動するかこしまへ

鹿児島市建設局長 山中 敏隆



平成十九年のすがすがしい新春を迎えられ、心からお慶び申し上げます。さて、国内の景気拡大は戦後最長を更新しておりますが、地方部では景気回復を実感するまでに至っていないところであり、厳しい財政環境のもと、将来にわたって持続的に発展し得る道実な

平成十九年 新春建築四団体合同賀詞交歓会



新年の門出にふさわしい盛大な催しとなっている「新春建築四団体合同賀詞交歓会」が一月四日、鹿児島サロイヤルホテルに於いて開催され、来賓をはじめ四団体の会員らが多数出席しました。今年で十九回目しむかえた交歓会では、初めに担当の電設協会の山ノ内会長が挨拶をし、来賓祝辞、来賓や各団体がハッピーを添って感謝の言葉を述べました。来賓祝辞の空調衛生工事業者協会の福留会長が乾杯の発声をした後、参加者はしばし歓談し、御かしい雰囲気となりました。

支部だより

良質で安全・安心な公共事業の推進を

曾支部長 川畑 勇三



明けておめでとうございませう。

平成十九年の輝かしい新年を会員皆様方と新たに迎えることを、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は県内各地で相次ぐ大雨や台風などによる多くの災害が発生し、県民の尊い命と財産が犠牲となりました。本県はシラス土壌や急傾斜地が多く、他県と比べても風水害が発生しやすい特性を持っており、さらに地球温暖化などの影響で過去の気象観測から想定できない災害が発生するなどの対策が急がれております。

我々会員は県民の財産を守る使命を担いながら、国

や地方公共団体の厳しい財政事情により公共事業のコストが削減されていくなかにあつても、公共施設の建設、維持管理と防災・環境保全事業を推進し、また、研修会等を開催し技術の研鑽に努め、良質で安全・安心な公共建築物を提供する努力をす

新春を迎えて

北薩支部長 野元 善文



新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと存じます。

会員の皆様方には、日頃からご支援、ご指導を賜り深く感謝申し上げます。ご存知のように、北薩支部では昨年七月に北部豪雨災害にあい、支部会員の皆様におかれましては、猛暑の中でのボランティア活動にご協力いただき誠に有難うございました。また、建築業をとりまく環境は、厳しい年がつづいております。こうい

鹿屋のいぶき

鹿屋支部長 小林 正義



新年明けましておめでとうございませう。旧年中は色々

と有難うございました。旧年(去年)は、鹿屋支部はすこい改革の年でござい

ました。その内、一番の特筆すべき事は、(一)鹿屋建設友会の内、十社おそろひした非協会員全員がそろつて鹿

児島県建設協会の会員として入会をさせていただき、

研究会にとりましては四〇余年の念願がかない全員で同じ釜の飯を喰うという事になり皆様の協力と友情に感謝した次第です。世の中

いろいろなメディア等ではいろいろ好景気を伝えますが我々にとりましては実感無

きが好景気で非常に難しい状況が続いておりますが、この難局を支部会員一致協力し、団結をもって乗り切らねばと決意しております。

う時こそ、互いに会員全体で協力すべきではないでしょうか。こうした事から、会員の信頼関係、協会員拡大につながるのではないのでしょうか。

また、北薩支部としましては、今後も地域の方々に建築協会のいろいろな活動や行事を通じてPRしていきたいと思ひます。

最後に、今年も会員皆様方のご協力とご指導をお願い申し上げますとともに、会員皆様方のご発展とすばらしい一年でありますように心からお祈り申し上げます。

南薩支部から

南薩支部長 大坪 祥浩



新年明けましておめでとうございませう。会員皆様方におかれましては、輝かしい新年をお慶び申し上げます。

平成十四年五月に南薩支部長を任命され、五年になりました。先り上げは下降して

おります。活動については、当初ソフトボールが盛んで

たのでしよう。支部内で練習を重ね、建築協会ソフトボ

ール大会に参加しています。その後、平成二年より会員

親睦ゴルフ、八年より高校生現場見学会、十三年より

ボランティア活動、十五年より視察研修旅行を実施しております。会員は、若干増え、現在十七名です。これ

本部が昭和三十六年に発足して五十二年八月六日に発足し、早三十年が過ぎようとしております。又、当初は会員

数十二名となつており、昭和五十七年から、支部有

成績は次のとおりです。

昨年、十月十二日秋空のもとは第四十二回ゴルフ大会が日置市の南九州カントリークラブ伊集院コースにて開催され、四六名が参加し親睦を深めました。

全員ダブルベリア方式の三〇打ち切りで熱戦を繰り広げた結果、個人戦では内門一郎氏(内門工務店)が優勝し、団体戦においては、四六名を九チームに分け各チームの上位四名の成績で争い、始良伊佐チームが優勝しました。

成績は次のとおりです。

個人戦 (敬称略) 優勝 内門一郎 (内門工務店) 準優勝 小牧 隆 (小牧建設) 三位 増森茂隆 (増森建設) ベスト 内門一郎 (内門工務店) グロス賞 川上建一郎 (川上建設) ドリフ賞 川上建一郎 (川上建設) (末重建設)

団体戦 (敬称略) 優勝 始良伊佐チーム (鎌田建設、末重建設、内門建設、内門建設、内門建設、内門建設、内門建設) 準優勝 鹿児島南チーム (九州建設工業、川上建設、川上建設、川上建設、川上建設、川上建設) 敬組(新築建設、新築建設)

奄美支部から

奄美支部長 伊藤 俊一



選んで新年の御挨拶を申し上げます。

奄美支部の事業も、八月六日の奄美祭二協賛(花火大会への寄付)、八月十日遺の日の清掃協力、九月七日の本部事務委による安全パトロール参加、十月十三日の大島支庁連反建業パトロールへの参加、十月十二日の

選んで新年の御挨拶を申し上げます。

奄美支部の事業も、八月六日の奄美祭二協賛(花火大会への寄付)、八月十日遺の日の清掃協力、九月七日の本部事務委による安全パトロール参加、十月十三日の大島支庁連反建業パトロールへの参加、十月十二日の

選んで新年の御挨拶を申し上げます。

奄美支部の事業も、八月六日の奄美祭二協賛(花火大会への寄付)、八月十日遺の日の清掃協力、九月七日の本部事務委による安全パトロール参加、十月十三日の大島支庁連反建業パトロールへの参加、十月十二日の

選んで新年の御挨拶を申し上げます。

奄美支部の事業も、八月六日の奄美祭二協賛(花火大会への寄付)、八月十日遺の日の清掃協力、九月七日の本部事務委による安全パトロール参加、十月十三日の大島支庁連反建業パトロールへの参加、十月十二日の

選んで新年の御挨拶を申し上げます。

奄美支部の事業も、八月六日の奄美祭二協賛(花火大会への寄付)、八月十日遺の日の清掃協力、九月七日の本部事務委による安全パトロール参加、十月十三日の大島支庁連反建業パトロールへの参加、十月十二日の

選んで新年の御挨拶を申し上げます。

は、会員減少の歯止めと、それに関連して会費の再検討だろうと思つています。最近特に奄美市域で建築専門のAクラスBクラスの会社が施工を断止する傾向が続いて居り、利益率の低い建築経営の難しさを痛感するのですが、一方それと反比例して、これまで建築には見向きもなかった島の土木の大手が建築に手を出してきて居り、建築技術者を次々吸収して行きます。そういうことから数年後には奄美支部のメンバーが一変しているかも知れません。

最後になりましたが、本年も協会の皆様の御指導を宜しくお願いしますと共に皆様の心なる御挨拶と御健勝を心からお祈り申し上げます。

釣りや男の料理 第四部

始良・伊佐支部長 南 明人



十一月初旬、エンジン不調で鹿児島市内のボルト専門

店に修理に出してあった船が、一ヶ月ぶりに整備を終えてきたので久しぶりに海に出ることにした。友人のH君

と弟の四人で海に出た。天気は曇り、波は穏やか。H君は

超大型アラカブ(二百五十グラム)と中型アラカブ(二百

グラム)と小型アラカブ(百二十グラム)と八匹の釣果であ

する。しばらくすると弟の竿が大きくしなった。巻き上げたのを見てみるとどうも鯛ではなさそうだった。ときし

てから水面に現れたのは、とても大きくて丸い鯛。これは超大型アラカブだ。超大型アラカブは、鯛のなかでも一番大きくて丸い。超大型アラカブは、鯛のなかでも一番大きくて丸い。超大型アラカブは、鯛のなかでも一番大きくて丸い。

根と胡瓜と人参の三色にし、沈海官作の黒薩摩の皿に盛り付ける。次に煮付けだの準備だ。煮付けだの汁を、酒、砂糖、醤油、だし汁を自分量で入れ、大、中アラカブ八匹を鍋に入れ、煮付け野菜にし、落し蓋をする。出まがらまでの間に、揚げの準備だ。超大型アラカブは、そのままで、三つ切りにし、小麦粉をまぶし、鍋に入れ、ジュウ

新春を迎えて

種子島支部長 久永 早苗



新年明けましておめでと
うございます。

皆様方におかれましては、
二〇〇七年の穏やかな新春
をお迎えのこと存じます。
早いもので、私も支部長
を拜任致しまして五年目を
迎えました。その間、会長を
始め各支部支部長には、色々
とご指導・ご鞭撻を頂き、誠
にありがとうございました。
心より感謝申し上げます。
さて、昨年は景気回復が
報道される中、種子島と屋
久島に於いては、全くその
兆しも見えず。地方交付税
や補助金のカットで、国・県・
市・町発注の公共工事が激
減し、予算的にも圧縮され、
しかも頼みの民間工事に至っ
ても同じような状況で、業
界にとっては非常に厳しい
事態が続きました。

市町村合併についても、
何度が具体的な動きがあつ
て、協議も重ねられたので
すが、結局一例も合意に達
していません。まさに手
探り状態で、暗中模索という
状況の中ですが、地元で生
業を営む会員とすれば、個々
の特色を生かし、工夫をし
ながら、そして将来に希望
を持ちながら、必死に頑張
らざるを得ない。そんな状
態です。残念ながら、この状
態では支部の会員増強を図
れるはずもなく、本部のご
厚意で屋久島の会員さんを
二社、種子島支部にお招き
して、やっとな現状を維持し
ている状態です。

年男のコーナー
二〇〇七 亥年

新春を迎えて

鶴親和建設 清島 和男



会員の皆さん新年明け
ましておめでとござい
ます。

私が建設業を始めたのは、
昭和五二年九月の沖永良
部台風の翌年昭和五三年
一月に創業致しました。
五〇年に一度と言われ
る超大型台風の襲来により、
住宅や農作、公共施設等に
壊滅的な被害を受けました。
その中でも特に被害が大
きかった住宅の復興が最
も大切な課題でした。
環境的に被害の大きかつ
た住宅の復興には職人資
材、機材の不足が調達に
苦労したのが思い出に残つ
ています。三〇年経て現在
では、人材、資材、工法等は
豊富になりましたが、国・県
市町村の公共工事の減少
等により建設業にとって

私はある先輩から何事
にも誠意をもって当たら
れたいという言葉を教わりました。
此からも何事にも誠意を持
つて当たり施主の満足の出
来る住まい作りをしたい
ものだと思っております。
新年は七十二才の年男
になりますが、趣味のゴル
フもゴルフ歴三〇年にな
ります。
此まで大きな病気も無
く健康で仕事が出来たのは、
ゴルフが健康に繋がって
きたかと思われま。私共沖
永良部島にはゴルフ場が
なく奄美大島や鹿児島で
のゴルフを楽しんでおり
ます。此からも趣味と健康
維持のため続けて行きた
いと思っております。

森を守る住まい塾

鶴深野木組 深野木 信



山の響き渡るチェーンソー
こんな感動体験から始

の音、「カンカンカン」と
矢が打ち込まれる小気味
よい音が静寂の中を走る。
スローモーション映画の
ように木が揺さ、大音響
を残し地に響く。あたた
まは喉声とどよめきに包
まれる。
こんな感動体験から始

三回目の成人式

協和建設(株) 中村 明人



私は昭和の世代にあた
る昭和二十二年生まれです。
戦後のベビーブームで人
数も多く、なんにしても競
争が激しい世代です。
この「団塊の世代」とい
う言葉は岸野太一氏が創
り出したそうです。まさに
当を得た言葉だと思いま
す。
千支では亥年にあたりま
す。ことわざで猪突猛進とい
う言葉がありますが、これ
は何事にもわき目を振ら
ずまっ直ぐ前を向いて進
んでいくということ、ま
さにその様な時代背景を
進んできた気がします。
一回目の成人式の頃は、
東京オリンピックが終り
高度成長の最中であり、色
々な分野が拡大する時期で
ありました。鹿児島市と各
山市の合併等も当時行わ
れました。二回目の成人式
の頃はJR九州誕生等、行
政改革の走りがあり、地価
が高騰し、土地神話が生ま
れた頃であり何か先が不
透明感のする時代であり
ました。
そして三回目の今回は、
ITの発達により情報を
より早く取入れ、活用する
ことが出来スピードを要
する時代になっており、市
町村合併があり、ますます
経済性・合理性を求め、よ
りテンポが速くなり効率
化を呼ぶようになってお
ります。
今考えて見ますと、青春
は若者だけのものではなく、
その時その時を一生懸命
に生きるのだと思います。
団塊の世代も日本経済
と共に繁栄を謳歌し、今後
リタイアした後どのよう
な世帯に成るのか楽し
みであります。

先日鹿児島中央駅に行
きましたと鹿児島から福岡
まで二時間二十分と書い
てありました。二分約五十
九秒という計算になるよ
うです。時は金なりと申し
ますが、スピード・利便性
だけでは計り知れないも
のがたくさんあると思
います。もつとゆつくりと、
そして早く確実に進みた
いものです。
時代の進み方の速さ、あ
るいは古き時代への郷愁
が相対するようですが、
私達が子供の頃は、いろ
いろ遊び場や自由で遊ん
でいました。力道山・大鶴
長崎・王などのスターパ
スターが今でも頭をよぎ
ります。
これからはますますらしい
青春の始まりでありたい
ものです。今は旅の中の一
コマであり、今後すばらし
い感動を味わいたいもの
です。

助成事業として開催される。
この塾は昨年七月より始
まり、参加者は三回で延べ
一八〇名を越え、消費者の
地域材への関心の高さが
窺える。
森林率六七％。そのうち
四〇％が人工林の美しい
緑の列島である日本。しか

昭和十年生まれ



昭和二十二年生まれ



昭和四十六年生まれ



「お蔭様」

豊明建設(株) 林 正英



恥ずかしながら、この歳
になりやっとな「結核や「悪」
という事を自覚できるよう
になりました。多くのお客
様、お取引いただいたい
る企業、社員さん達、すべ
ての出会いには、すべて先世
からの因縁、結縁であるか
ら、
恥ずかしながら、この歳
になりやっとな「結核や「悪」
という事を自覚できるよう
になりました。多くのお客
様、お取引いただいたい
る企業、社員さん達、すべ
ての出会いには、すべて先世
からの因縁、結縁であるか
ら、
恥ずかしながら、この歳
になりやっとな「結核や「悪」
という事を自覚できるよう
になりました。多くのお客
様、お取引いただいたい
る企業、社員さん達、すべ
ての出会いには、すべて先世
からの因縁、結縁であるか
ら、
恥ずかしながら、この歳
になりやっとな「結核や「悪」
という事を自覚できるよう
になりました。多くのお客
様、お取引いただいたい
る企業、社員さん達、すべ
ての出会いには、すべて先世
からの因縁、結縁であるか
ら、

し今、木材自給率は二五％
まで落ち込み、森林は放置さ
れたがゆえに荒廃の危機
的状況にある。参加者は伐
採現場、炭焼場、製材所な
どの見学を通じ、森の現状
を知り、山の仕事を理解す
るとともに、木の家を造る
ことは森を守ること、地球
環境を守ることに直結し
ていることを実感する。
一方、私たち建設業者は
「地域材地建」の旗印を
掲げ、地域材の活用に対
し、大きな期待とともに重
大な責任が課せられている。
消費者への期待に応えら
れるよう、私たち自身が地
域材への理解と知識をさ
らに深め、木の良さを最大
限に活かして活用する技術
を習得するよう努力しな
ければならないと思う。
木材は輸入できても、身
近な森の健全な環境は輸
入できないのだから。



なるのが悪いという字ですが、
何のおおかげで自分はこの
ように大きく(肉体的にも
精神的にも)なったのか？
と思うことがしばしばあ
ります。このように思う心
が悪いことをいう事だそ
うです。私たちが天地の恩
人の恩、道徳の恩、教えの恩
など多くの恩の中で暮ら
しています。自分一人はと
てもちつづけ存在にし
かすませんが、多くの人
達に支えられています。恩
に報いる生き方をしなけ
ればいけません。ですから
いつも「お蔭様で」とい
う気持ちを忘れずにい
たいと思っております。感謝



鹿児島県・鹿児島市積算担当者と建築協会との協議会 (担当:総務委員会) (10月16日)

2006かごしま住まいと建築展「模範上棟式・餅まき」(担当:工事委員会) (10月28日・29日)



平成18年度建築関係技術者研修会 (鹿児島県土木部主催) (担当:工事委員会) (9月1日~)



第1回労務委員会による安全パトロール (担当:労務委員会) (8月30日)



経営者講習会 (担当:総務委員会) (10月29日)



建築四団体協議会 (担当:総務委員会) (11月9日)



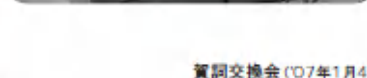
年末年始労働災害防止強調期間説明会 (担当:労務委員会) (11月16日)



第1回合同安全パトロール (担当:労務委員会) (11月16日)



安全大会 (07年1月10日)



質問交換会 (07年1月4日)



第1回合同安全パトロール (担当:労務委員会) (11月16日)

協会の動き



「建築の日」ボランティア (各支部にて実施) (担当:研究開発委員会) (9月16日~) (鹿児島市)



第2回労務委員会による安全パトロール (奄美地区) (担当:労務委員会) (9月7日~)



建築協会と建築専門業団体との協議会 (担当:研究開発委員会) (10月11日)



第42回ゴルフ大会 (担当:総務委員会) (10月12日)

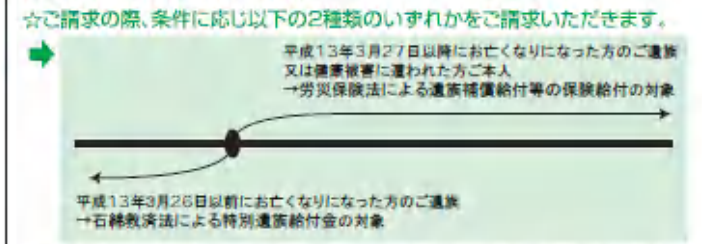


11月11日 奄美支部

「建築の日」ボランティア
平成十二年度より実施されている「建築の日」ボランティアは、本年度で七回目をむかえました。昨年九月十六日を皮切りに各支部で実施され、公園や河川、道路の清掃、団地内の芝生剪定等、地域に密着した活動を行いました。

石綿関連業務に従事したため疾病に罹患された方及びこれが原因で死亡された方のご遺族の皆様へ

現在、鹿児島労働局では、石綿関連業務のため、健康被害に遇われた方やお亡くなりになった方のご遺族の方が早期に必要な給付が受けられるように取り組んでいます。



以下のことから、お心当たりのある方は、速やかに鹿児島労働局又は最寄の労働基準監督署に、ご相談ください。

- ①特別遺族給付金及び労災保険法の遺族補償給付等の請求が認められる期間には制限があります。
②特別遺族給付金にかかる年金は、制度上、請求を受けた翌月分から支給されますので、請求が遅くなるほど支給総額が減少します。
③時間が経つと鑑定に必要な医学的資料の入手が困難になります。

安全祈願祭

第三十回安全大会

一月十日、鹿児島県護国神社で労務委員会の事業の一つである安全祈願祭及び第三十回安全大会が開催され、約百名が参加しました。安全祈願祭では、米賀・専門業団体、建築協会の代表が玉串を奉げ安全を祈る等厳かに執り行われた後、講堂に場所を移し、第三十回安全大会を開催しました。

- 安全衛生管理優良賞
1. 竹山・政・平良特定建設工事共同企業体
2. 新生・吉崎・千原特定建設工事共同企業体
3. 鹿児島県建設協会
4. 鹿児島県建設協会
5. 鹿児島県建設協会
6. 鹿児島県建設協会
7. 鹿児島県建設協会
8. 鹿児島県建設協会

安全の誓い

本日、労働災害防止の安全祈願祭を執り行うにあたり、護国神社の大神の御前に、社団法人鹿児島県建築協会の会員を代表し、ここに労働災害の撲滅に努力することを誓い、施工現場の安全と、併せて事業の繁栄を祈願いたします。

大会宣言

労働災害の防止は、事業者の熱意と働く者一人一人の自覚と実践が必要であり、毎日の仕事の中で安全の基本を着実に施行し、地道に努力することが重要である。我々は、労働災害の現状を憂い受け止め、生命の尊厳を強く認識し、決意を新たにして労働災害の撲滅を目指して邁進することを誓い、ここに宣言する。

新年のご挨拶

鹿見島建築協会青年部会 部会長 吉満 祐市



新年あけましておめでとうございます。日頃より私共の活動に深いご理解とご協力をいただき大変ありがとうございます。おかげさまで、青年部会の活動も日々充実してきていると考えております。

昨年は総務委員会が「定時総会」の運営と「2000誌」の発行・ホームページ掲載並びに会員手帳の発行・インターネット掲載、会員研修委員会が「経営者講習」で建設業におけるトラブルあれこれと

総務委員長

南洋和



新年あけましておめでとうございます。総務委員会の事業としては定時総会の運営、青年部発行の「2000誌」、親会発行による「協会だより」の原稿寄稿等を大きな柱として活動を実施してまいりました。また、会員手帳も建築協会内のグループウェアでありますインターネットに掲載を行い、役職、住所、携帯番号などが古いままであった為、新しい情報の記載により、会員間同士で今まで以上に活用して頂き、アクセスアップに繋がれば良いなと思っております。

昨年四月末に開催致しました定時総会におきましては、前年事業報告並びに決算承認及び平成十八年度事業計

て松下弁護士の話、活動委員会が「体験実習」で建築業が知っておかなければならないバリアフリーとして高齢者・身障者の疑似体験を行っております。

又、IT化推進室では南九州内の建設・建築協会のIT化を勉強している会として宮崎・熊本青年部会と情報交換の場を開いております。

同じく南九州内の建築協会の青年部会とは、青年部の活動や考えの啓蒙や奉仕を討議しております。

さらに今年は、青年部会の創立十周年記念の行事と後半の各委員事業も計画しております。

さて、昨年は業界的に驚くべき事件が多発した一年でありました。大変

画並びに予算(案)の件を無事審議通過することが出来ました。有難うございました。

さて話しは変わりますが、昨年青年部会創立十周年を迎えることが出来ました。これもひとえに親会の方々や各種団体の皆様また青年部会員の皆様の積極的な事業やボランティアのお陰でもあります。そこで今年は特別事業として平成十九年一月二十六日に青年部会創立十周年記念式典懇親会を実施いたします。今、その準備に全力投球しております。十年という節目の年に十年を振り返り思いを込めて頂けたら幸いです。最後に今後とも青年部会への更なるご理解、御指導を宜しくお願い致します。

青年部会

新年の挨拶

活動委員長

村岡 博文



新年あけましておめでとうございます。活動委員会の活動状況は九月八日(身障者・高齢者等の疑似体験)を県介護実習センターにて実施いたしました。参加者は二〇名と少なかつたですが車椅子体験、高齢者の疑似体験、モデル展示場の見学等を行いました。貴重な体験を通して今後の仕事に役立ったのではないかと思います。

また、もう一つの事業の「小学生・中学生を対象とした工作教室」は新規事業でどのようなかたちで実施したら良いか模索中です。



技能祭りへの参加(活動委員会) 【小学生または中学生を対象とした工作教室のための準備事業】

月一回の定例会を行っていますが、なかなか出席者が少ないのが実情であります。今年はいよいよ行い、出席者が少しでも増え委員会が活性化するようにがんばりたいと思っておりますので協力の程よろしくお願い致します。



経営者講習会(会員研修委員会)



経営者講習会(会員研修委員会)

森田 達朗 新年あけましておめでとうございます。昨年は、温かい御指導と御懇情を賜り誠にありがとうございました。

本年も何卒よろしくお願ひ致します。

旧年中は、会員研修委員会、経営者講習会、弁護士との連携をよりよくお願いいたします。

意義のある講習会を行えたと思っております。

しかし、現場見学会、技術者講習会の青年部会創立十周年記念を兼ねた研修旅の大切さを改めて感じました。

なんと今年度内にとりまして、現場見学会、技術者講習会、青年部会創立十周年記念を兼ねた研修旅と計画しております。この場を借りて会員の皆様の多数のご参加をお願い致します。

十九年度は、早めの事業計画と会員の皆様の問題としてある点、関心を持っております。取組をより多く多岐にわたる事業を計画していきたいと思っております。

協会内メールや掲示板を使う事により情報の共有ができ、協会会員のメリットとなります。

本格導入より九ヶ月経ちましたが七割以上のアクセス率ができています。

今後の活動として、協会のITスキルアップの為に色々の講習会等も行っておりますので、ご意見をお聞かせ下さい。

青年部会会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

第二回人材確保検討委員会を開催

平成十八年九月二十二日(金)三・三〇〇

二月初旬に結果を報告分析、問題点、改善点の提案が社事、千原理事、羽月理事、前田理事、山下理事、池添専務理事、事務局和田、社会保険労務士末原勉、二社回答二百三十三社回答百二十一社でした。

ご協力ありがとうございました。次年度以降も調査事業のアンケートがありますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

十八年度の推進事業計画は次のとおりです。

一、雇用環境改善自主点検の実施
 ・建築現場の安全意識の徹底を図るための安全パトロール
 ・建築現場の安全点検、指導教育の実施

二、労働者モラル向上のための事業、安全に対する

三、採用活動改善事業として
 ・人材確保推進事業の活動及び構成事業所の理解を深めるための団体広報誌(会報けんちく)の発行
 ・二回以上が今後の事業計画予定です。

若年層や社員の方々に魅力ある職場づくりを取組んでいきます。
 構成員と協会会員の絶大なご理解とご協力をお願いいたします。

人材確保推進員
 鹿見島建築協会
 専務理事 池添 宏